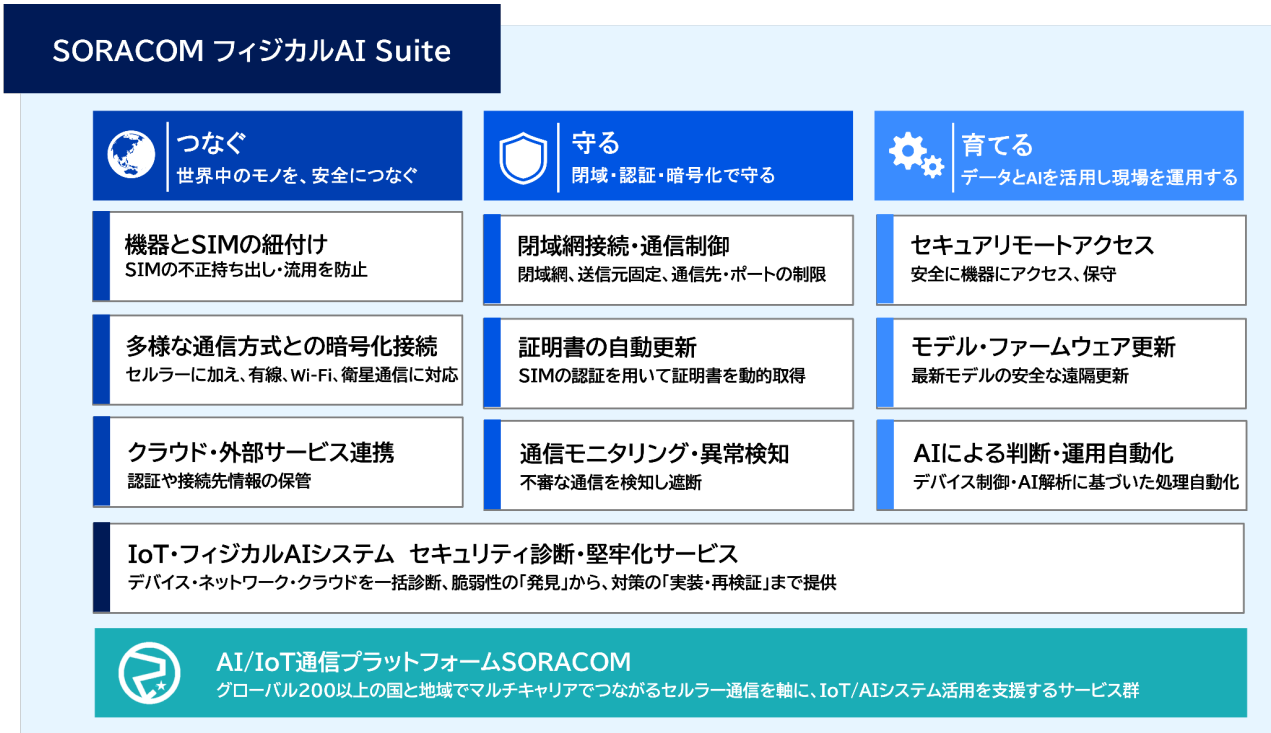
2026年 11 月 10 日
株式会社ソラコム

フィジカル AI システムを「つなぐ」「守る」「育てる」、「SORACOM フィジカル AI Suite」を提供開始

閉域化・証明書の自動更新・暗号化通信路など、実績あるセキュリティ機能を集約
同日、セキュリティ診断・堅牢化サービスも提供開始

株式会社ソラコム（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO 玉川 憲）は、「SORACOM フィジカル AI Suite」を、2026 年 11 月 10 日より提供開始します。本パッケージは、ロボットや自律的に動作するモビリティ、産業機器など、現実世界で判断し動作する「フィジカル AI」システム全体の通信・セキュリティ・運用を支えます。これまで世界中のお客様に活用されてきた SORACOM のサービスと知見を機能群として集約し、同日提供開始の新サービス「IoT・フィジカル AI システム　セキュリティ診断・堅牢化サービス」を加えました。



AI の活用領域は、画面上のデータ分析や操作の代替から、各種現場で自律的に動作するフィジカル AI へと急拡大しています。AI 時代のシステムは、一度導入すれば完成するものではありません。AI モデルは現場のデータをもとに精度を高めるために、ソフトウェアは環境の変化や新たなリスクに対応するために、設置後も更新し続けることが求められます。更新を続けるには、機器が常に安全につ

ながっていることに加え、更新の経路そのものが守られていることが不可欠です。デバイス、ネットワーク、クラウドなど幅広い要素を、一貫したセキュリティポリシーのもとで運用することで、セキュリティ対応に必要なリソースを最適化し、ビジネスに集中することができます。

ソラコムは、フィジカル AI を、機器単体ではなく、通信、クラウド、AI モデルまでを含むシステム全体として捉え、「つなぐ」「守る」「育てる」の 3 つの柱で整理しています。各柱を持続的に運用し、現場で得られたデータをもとに自律的に改善サイクルを回し続けることが、フィジカル AI の社会実装には欠かせないと考えています。

SORACOM は、世界 200 以上の国と地域で 550 以上の通信キャリアにつながる AI/IoT 通信プラットフォームとして、さまざまな業界の IoT 機器の通信と運用を支えてきました。現場の機器を通信でつなぐ際には、外部からの不正アクセス、デバイスや SIM の持ち出し、証明書や鍵の漏洩、信頼できない通信路の利用といったリスクを想定した設計が、導入の時点から重要です。ソラコムは、これらのリスクに対応する機能を、ネットワークから認証、暗号化まで、サービスとして提供しています。そうしてグローバルで培った技術とノウハウをまとめ、必要な機能を選択することで、効率的にフィジカル AI システムの構築・運用をサポートするのが、SORACOM フィジカル AI Suite です。

本パッケージは、SORACOM のサービスを 3 つの柱に沿って整理し、次の機能を提供します。「つなぐ」では、機器と SIM の紐付けによって不正な持ち出しや流用のリスクを低減し、セルラー・有線・Wi-Fi・衛星通信など多様な通信方式と暗号化して接続し、クラウドや外部サービスと安全に連携します。「守る」では、閉域網接続と通信制御、証明書の自動更新を提供します。また、お客様のシステムにモニタリング基盤を構築すれば、不審な通信を検知した際に、ネットワーク側から通信を遮断できます(*1)。「育てる」では、データと AI を活用して現場を運用するため、セキュアなリモートアクセス、モデル・ファームウェアの更新、AI による判断と運用の自動化を提供します。

新サービスの「IoT・フィジカル AI システム　セキュリティ診断・堅牢化サービス」では、デバイス、ネットワーク、クラウドを一括で診断し、脆弱性の発見から対策の実装・再検証までをワンストップで支援し、診断で見つかったリスクを、対策へとつなげます。
https://soracom.com/ja/news/iot-physical-ai-security_services/

ソラコムは今後、パートナーさまやお客様からのフィードバックをもとに、フィジカル AI システムに関する知見を深め、本パッケージを継続的に進化させていきます。セキュリティを「後から付け足すもの」ではなく、設計・運用の前提と位置づけ、安心してフィジカル AI を活用できる社会の実現に貢献してまいります。

(*1)通信のモニタリングは、お客様のシステム側で実施いただき、ソラコムはその結果に応じてネットワーク側で遮断する仕組みを提供します。

SORACOM フィジカル AI Suite

提供開始日
2026 年 11 月 10 日

本パッケージは、フィジカル AI システムの安定運用に必要となる「つなぐ」「守る」「育てる」の 3 つの柱を軸に、AI/IoT 通信プラットフォーム SORACOM のサービスをパッケージ化しています。製造、物流、エネルギー、インフラ、ビルなど設備をネットワークにつなげて運用する企業や、ロボット・フィ

ジカル AI など現実世界で動作するシステムを開発・導入する企業、IoT 製品・サービスを提供する事業者のお客様にご利用いただけます。

セキュリティに焦点を当てた際の中核となる機能は以下の 5 つです。

① 閉域網接続・通信制御（SORACOM VPG）
SORACOM VPG は、SORACOM 上に設置したお客様専用のゲートウェイです。機器とサーバー間の通信経路をインターネットから隔離し、送信元の固定や、通信先・ポートの制限により、通信を制御します。

② 通信状態のモニタリング（SORACOM Peek/ SORACOM Junction/ SORACOM Flux）
お客様のシステム側で、通信状態（通信先・通信量・頻度など）をモニタリングする基盤を構築し、不審な通信を検知します。検知の結果に応じて、その SIM の通信をネットワーク側から遮断できます。

③機器と SIM の紐付け（SORACOM Air for セルラー - IMEI ロック）
SIM/eSIM と通信機器（モデム）との対応関係をネットワーク側で記録し、事前に設定された機器以外からの通信を無効化します。SIM/eSIM が機器から持ち出され、ほかの機器で不正に流用されるリスクを低減します。

④ 証明書の自動更新（SORACOM Krypton）
SIM/eSIM を用いたハードウェア認証を行い、機器の起動時や定期的に、サーバーやクラウドとの接続や通信の暗号化に使う証明書を動的に取得します。万が一証明書が漏えいしても、被害を抑えることができます。

⑤ 多様な通信方式との暗号化通信路（SORACOM Arc）
セルラーに加え、有線、Wi-Fi、衛星通信にも対応します。セルラー以外の通信は、SORACOM Arc の暗号化通信路を経由して SORACOM に接続できます。第三者の回線や信頼できない通信路を使う場合でも、内容を秘匿したまま VPG 経由で閉域網通信を行えます。そのための鍵の発行も、SIM/eSIM を用いて行います。

詳細・お問い合わせ

- ご利用料金は、ご利用内容に応じて個別にお見積もりします。既存の各種機能は、各サービスの規定料金に準じます。
- お申し込みは、お問い合わせページからご連絡ください。
  https://soracom.jp/services/soracom-physical-ai-suite/

ソラコムについて

AI/IoT 通信プラットフォーム SORACOM は、世界 200 以上の国と地域でつながる IoT 通信を軸に、IoT を活用するために必要となるアプリケーションやデバイスなどをワンストップで提供しています。製造、エネルギー、決済などの産業 DX から、イノベーティブなスタートアップ、農業や防災など持続可能な地域社会を支える取り組みに至るまで、さまざまな業界・規模のお客様にご活用いただいています。

ソラコムコーポレートサイト https://soracom.com

ソラコムの IR サイトでは、決算情報・IR 資料など、株主・投資家様向け情報を掲載しています。
公式 IR サイト・ニュースレター
・IR サイト
https://soracom.com/ja/ir
・IR ニュースレター登録
https://soracom.com/ja/ir/newsletter
・IR データ(AI 向け) 利用ガイド
https://soracom.com/ir-data/ai/ir data book latest README.md
・IR データ(AI 向け) CSV
https://soracom.com/ir-data/ai/ir_data_book_latest.csv

関連レポート・公式 SNS
・シェアードリサーチレポート
https://sharedresearch.jp/ja/companies/147A
・ソラコム IR 公式 note
https://note.com/soracom_ir
・ソラコム IR 公式 X
https://x.com/SORACOM_IR

本ニュースに関するお問い合わせ

株式会社ソラコム　広報　田渕
pr@soracom.jp